

1964年東京パラリンピック 幻のカラー記録映画上映!!



春の企画展


病床からフィールドへ

— スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡 —

令和3年(2021) 3.16 [火]・5.9 [日]

TOKYO 2020
応援プログラム



 **しょうけい館**
戦傷病者史料館
Historical Materials Hall for the Wounded and Sick Retired Soldiers, etc.

開館時間 ▶ 10時～17時30分(入館は17時まで)
会場 ▶ 1階 企画展示室
休館日 ▶ 毎週月曜日・5/6(5/3(月)は開館)

春の企画展

病床からフィールドへ

— スポーツに取り組んだ戦傷病者の軌跡 —

1964年に行われた東京パラリンピックは、第1部国際大会の国際ストーク・マンデビル競技大会と第2部の国内大会に分かれて開催されました。第1部では脊髄損傷で車椅子を使用する選手、第2部では車椅子を除いた身体障害者の選手が競いました。どちらの大会にも戦傷病者が出場し、多くの競技において記録を残しました。特に第1部国際ストーク・マンデビル競技大会では、国立箱根療養所(現:国立病院機構箱根病院)から2名の戦傷病者が出場し、両名とも複数のメダルを獲得する快挙を成し遂げました。

入場無料

本展では、戦時中に行われたスポーツ大会や1964年東京パラリンピックの歴史を紹介するとともに、戦傷病者がスポーツとどのように関わってきたのかを紹介します。

また、1964年東京パラリンピックのカラー記録映画を上映します。東京パラリンピックのカラー記録映画は現在確認されているものではこの作品しかありません。厚生省・国立箱根療養所(当時)が企画・制作した作品で、開会式や15の競技・種目の様子が詳細に記録されています。

映像上映

内容: 企画展関連映像

時間: 10:00~17:00

場所: 1階 証言映像シアター

その他: 鑑賞自由・無料

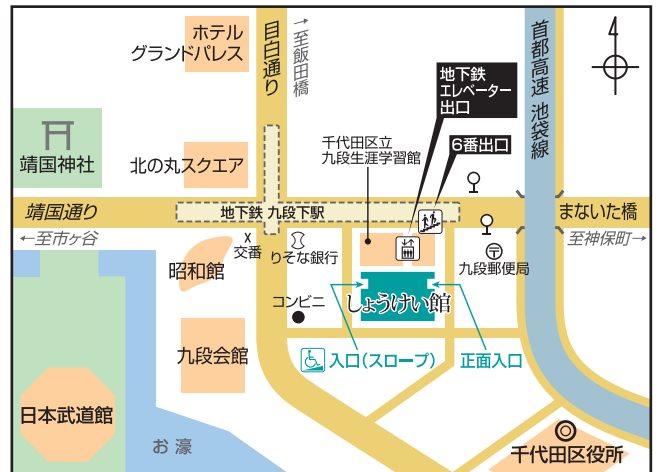
記録映画

「PARALYMPIC TOKYO 1964」
カラー記録映画(26分)

1日に7回、10時から1時間おきに上映します。

証言映像

当館で収録した戦傷病者の証言映像より、
企画展のテーマに沿った作品を順次上映します。



● 地下鉄をご利用の場合

「九段下」駅6番出口から徒歩1分(東西線、半蔵門線、都営新宿線)

● 都営バスをご利用の場合

「九段下」停留所から徒歩1分(高71系統(九段下~高田馬場駅))

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

※車椅子で来館される場合は館の入口(スロープ)をご利用ください。

2021年3月16日(火)~5月9日(日)

会場: 1階 企画展示室

開館時間: 10:00~17:30 (入館は17:00まで)

休館日: 毎週月曜日(5/6(5/3(月)は開館))

当館は、戦傷病者とそのご家族が戦中・戦後に体験したさまざまな労苦についての証言・歴史的資料・書籍・情報を収集、保存、展示し、次世代の人々にその労苦を知る機会を提供する国立の施設として、平成18年3月に開館しました。

しょうけい館という館名は、戦傷病者とそのご家族の労苦を知り、語り継ぐという趣旨から、受け継ぎ、語り継ぐという意味の「承継」という言葉からとっています。



www.shokeikan.go.jp

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-5-13
ツカキスクエア 九段下
Tel.03(3234)7821 Fax.03(3234)7826



※状況により中止とさせていただく場合があります。中止の場合はホームページにてお知らせいたしますので、ご確認願います。

お問い合わせ先: しょうけい館 03(3234)7821